



Pure C&G BCT IX 取扱説明書



医療機器のクラス: 管理医療機器

一般的名称: 耳かけ型補聴器

販売名: 補聴器 IXシリーズ

形式: Pure C&G BCT IX

このたびはPure C&G BCT IXをお買い求め頂き、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

補聴器の使用、性能についての注意事項

補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。

補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。

補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。

補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。

耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。

聴力に変化があったり、使用する環境が変わったりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。

サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

※この取扱説明書の内容は2025年11月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目 次

■ ご使用前に	2
■ 安全上のご注意（必ずお守りください）	4
■ 防水性能について	10
■ 付属品の確認	12
■ 各部の名称	14
■ モールド・ドームの取り扱い	16
■ 装用の仕方	18
■ 操作の仕方	22
■ アクセサリ	33
■ 充電の仕方	34
■ 補聴器に慣れるためのアドバイス	36
■ 故障かなと思われたときは	37
■ お手入れの仕方	38
■ 補聴器の設定	40
■ 補聴器の保管	45
■ 技術資料	46
■ アフターサービスについて	47

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる
危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。



警告

この表示がある項目は、「人が死亡または重症
などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性
または物的損傷が発生する可能性が想定される」
内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、
説明しています。



禁止

この表示がある項目はしてはいけない「禁止」
の内容です。

より快適なご使用のための方法を説明しています。



よりよく補聴器を使用するためのアドバイスと
ヒントです。



形式やオプションによって異なる機能を示しま
す。お求めの販売店に、該当する機能にチェッ
クを付けるようにご依頼ください。

警告

補聴器や付属品は飲み込むと窒息の危険を伴います。
次のことをお守りください。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないように、周囲の人が常に注意してください。

禁止

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかとなるとき。

補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器を外すかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



禁止

補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

補聴器は完全防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

充電式リチウムイオン電池を分解しないでください。

充電式リチウムイオン電池は補聴器から取り外すことはできません。誤った使い方をすると爆発する危険があります。

補聴器の修理や充電式リチウムイオン電池の交換はメーカーがおこなう必要があります。そのため下記の症状があるときはお求めの販売店から修理に出してください。

- 充電式リチウムイオン電池の交換や補聴器の修理をご自分でおこなわないでください。
- 充電が完了しているにもかかわらず、補聴器の性能が大幅に低下しているときは、補聴器を使用しないでください。
- 充電式リチウムイオン電池が破裂したときは、可燃物から遠ざけてください。

注意

Pure C&G BCT IXは、航空便で送付する際、特定の表示が必要になります。航空便ご利用になる際は、規制に従った表記をしてください。補聴器を装用して飛行機をご利用になる際は、表示などは必要ありません。

必ず専用の充電器を使用してください。

動作条件を守ってください。

「動作、保管と輸送について」を参照（46ページ）してください。

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

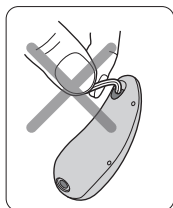
- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

注意

取り扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落したり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取り外してください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れないでください。
- 補聴器とミニレシーバーの接続部を引っ張らないでください。



補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ず外してください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、よく水を切り、陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、真水で洗った後、よく水を切り陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送局、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところでは、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

指向性について

- 補聴器を指向性モードで使用すると、主に後方からの音を抑えます。そのため後方から近づく車両の音やクラクションなどが聞こえにくくなることがあります。

携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

補聴器がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。

補聴器を使用しないときは、

「お手入れの仕方」(38ページ)

「補聴器の保管」(45ページ)

「動作、保管と輸送について」(46ページ)を参照してください。

防水性能について

Pure C&G BCT IXの防塵防水保護等級はIP68です。

これは「粉塵が中に入らない。」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない（水深1mに1時間浸かっても、浸水がないことを確認）。」ことを意味します。

完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

保護等級に関わらず補聴器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨いたしません。

Pure C&G BCT IXは、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。

完全防水（メンテナンスフリー）ではありません。

- 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また、次の場所では使用しないでください。（お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など）
- 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤（石鹼、洗剤など）で洗わないでください。
- 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤などで経年劣化します。
- 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。（日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など）
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

-
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
 - 落下させたり、強い衝撃を与えたり、音の入口や音の出口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
 - ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
 - 補聴器は水に浮きません。
 - アクセサリ（充電器やリモコン類）は防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを ☐ に ☒ をいれて確認してください

☐ スリーブまたはイヤチップ【1個】※



スリーブ



イヤチップ

ご注文時に選択されたサイズになります。

アクセサリで他のサイズもあります。

☐ ストッパー（コンチャロック）【1個】※



耳せんが耳から外れないようにする付属品です。

☐ マグネット付き掃除ブラシ【1本】



先端がマグネットになってます。

☐ 取扱説明書（本書）【1部】



☐ 保証書【1部】※



☐ 補聴器早わかりガイド【1部】



取扱説明書と合わせてお読みください。

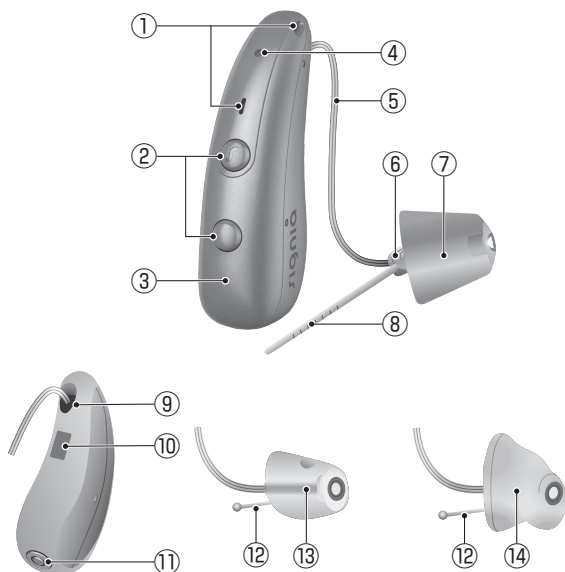
☐ 化粧ケース【1個】



※ 両耳でのご注文の場合は2つ付属されます。

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称



- ① 音の入口
- ② プッシュボタン
- ③ ケース
- ④ LED
- ⑤ 導線チューブ
- ⑥ レシーバー（外装イヤホン）
- ⑦ スリーブ・イヤチップ
- ⑧ ストッパー（コンチャロック）
- ⑨ 左右識別色（赤色＝右耳用、青色＝左耳用）
- ⑩ シリアル番号・クラス表示
- ⑪ 充電端子
- ⑫ テグス
- ⑬ クリックモールド（別売）※
- ⑭ HPモールド（ミニレシーバーHP専用）※

⑤・⑥ をまとめて「ミニレシーバー」と呼びます。

⑦のイラストはスリーブです。

※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

プッシュボタンの動作

プッシュボタンは、選択した機能によっての操作が異なります。選択した機能を下記の表に記入してください。

(□にチェックを☑入れてください)

プッシュ
ボタン



	左補聴器			右補聴器		
機能						
プログラムの選択 (24ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
音量の調節 (26ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
ストリーミング (30ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
電源のオン/オフ (22ページ参照)			<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>



プッシュボタンの機能を無効にすることもできます。

プッシュボタンの機能を無効にしても、電源のオン/オフは動作します。

プッシュボタンの操作方法



プッシュボタンを押してください。



プッシュボタンを2秒間押してください。



プッシュボタンを4秒間押してください。

モールド・ドームの取り扱い

HPモールドの取り付け/取り外し方法 (ミニレシーバーHP専用)

ミニレシーバーHPは、HPモールドと一体になっております。分離することはできません。



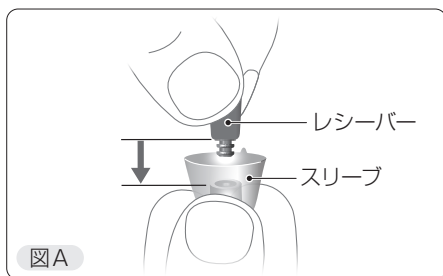
クリックモールドの取り付け/取り外し方法

お求めの販売店にご依頼ください。



スリーブ・イヤチップの取り付け方法 (イラストはスリーブです)

① スリーブを指で支えてレシーバーをはめます。(図A)



② レシーバー先端部分 (段差部) が隠れれば完了です。(図B)
はめ込み部分が見えない場合は、スリーブを裏返して、はめ込み部分を確認します。



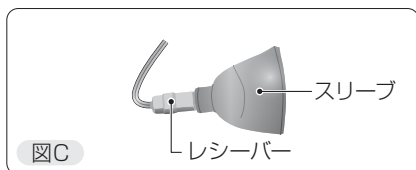
⚠ 注意

スリーブ・イヤチップは、レシーバーの先端部分 (段差部) に正しくはめてください。

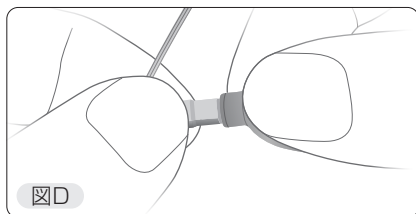
スリーブ・イヤチップの取り外し方法 (イラストはスリーブです)

スリーブ・イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換することをお勧めします。耳垢詰まりで音質が低減したり、シリコン樹脂が劣化して部品が損傷したりすることを予防できます。

① スリーブを裏返しにします。(図C)



② レシーバー部分を押さえてスリーブをレシーバーから引き抜きます。(図D)



⚠ 注意

スリーブ・イヤチップを取り外す際は、必ずレシーバー部分を押さえてください。導線チューブなどを押さえてスリーブ・イヤチップを取り外そうとするとミニレシーバーが破損する恐れがあります。

取り外したスリーブ・イヤチップは、再使用しないでください。耳の中でスリーブ・イヤチップが外れる恐れがあります。取り付け/取り外しが難しい場合は、お求めの販売店にご依頼ください。

装用の仕方

補聴器を装用する前に

補聴器は、左右のそれぞれの聴力に合わせて調整されています。
補聴器を装用する際は、左右識別色を確認して装用してください。

■ 赤色＝右耳用補聴器

■ 青色＝左耳用補聴器

左右識別色

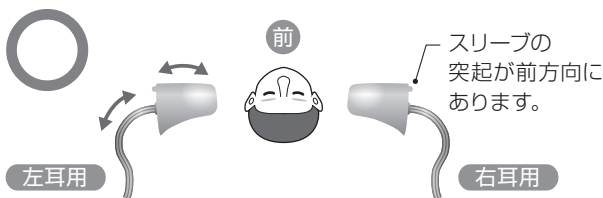


スリーブを装用する場合

スリーブは耳に入れる前に正しい向きを確認する必要があります。
スリーブは、補聴器を装用したときにスリーブの突起が前の方に向きます。
正しく取り付けると下図のようにスリーブの曲がり方が導線チューブの曲がりに沿うようになります。

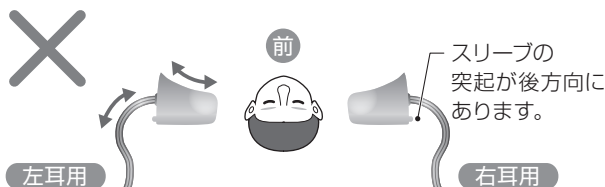
【スリーブの正しい向き】

スリーブは図のように前方に膨らんだ形になります。



【スリーブの誤った向き】

スリーブは図のように前方が凹んだ形になります。



補聴器のつけ方

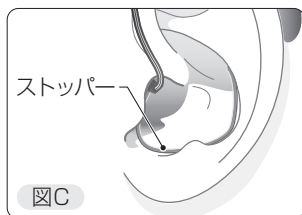
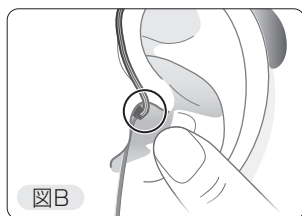
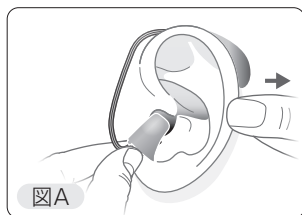
① スリーブまたは、イヤチップがゆるんでいないことを確認します。

② 補聴器を耳にかけます。

③ 図Aのようにミニレシーバーのレシーバー部分を人差し指と親指でつかみ外耳道に挿入します。
耳を後上方に引くと入れやすくなります。

④ レシーバーの導線チューブの曲がり部分が耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。

⑤ 図Cのようにストッパー（コンチャロック）を耳のくぼみに這わせてください。



※ストッパー（コンチャロック）は必要に応じてレシーバーに取り付けてください。

※耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。
その場合は、レシーバーからストッパーを取り外して装用してください。

⚠ 注意

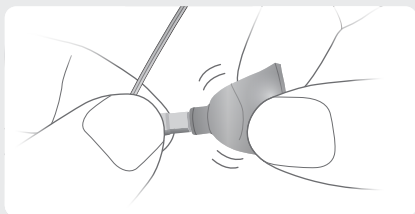
ミニレシーバーの導線チューブをつまんで外耳道に挿入しようとするとレシーバーが破損する恐れがあります。



同梱の補聴器早わかりガイド【耳かけ】編の **2** 耳につけましょう・外しましょうにありますRICタイプも参照してください。

⚠ 注意

- レシーバーには必ずスリーブ・イヤチップまたは、クリックモールドを使用してください。
- スリーブ・イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまい危険です。
- 補聴器の装用前に必ずスリーブ・イヤチップを指でかるくしごいて簡単にはずれないことを確認してください。

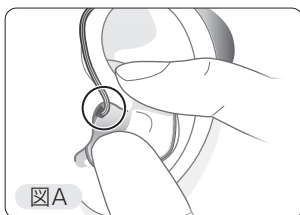


- レシーバーにスリーブ・イヤチップ・クリックモールドを取り付けずに耳の中に入れないでください。
- レシーバーを外耳道の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- 他人のスリーブ・イヤチップ・クリックモールドは使用しないでください。
- スリーブ・イヤチップが耳の穴に合わない場合や、ハウリング音（ピーピー音）が起きる場合は、別売のクリックモールド（特注耳せん）の使用をお勧めします。詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

スリーブ・イヤチップの材質は、シリコン樹脂を使用しています。万一、耳の穴の中にスリーブ・イヤチップが残ってしまった場合、耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師またはお求めの販売店にご相談ください。

補聴器のはずし方

- ①図Aのように曲がりの部分を指でつまみます。
- ②ゆっくり外耳道から取り出します。
- ③補聴器を耳から外します。

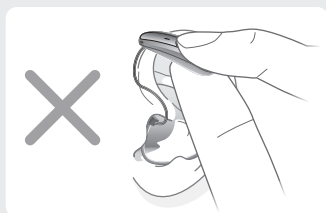


⚠ 注意

ミニレシーバーの導線チューブをつまんで外耳道から取り出そうとするとレシーバーが破損する恐れがあります。

補聴器を引っ張ってレシーバーを外耳道から取り出さないでください。

無理に取り出すと外耳道を傷つけたり、補聴器やミニレシーバーを破損したりする可能性があります。



同梱の補聴器早わかりガイド【耳かけ】編の **2** 耳につけましょう・外しましょうにありますRICタイプも参照してください。

操作の仕方

電源の切り方と入れ方

(選択されました機能の□に☑チェックを入れてください)



補聴器の電源が入るとメロディが流れてお知らせします。

☐ プッシュボタンを使って

■ 電源の切り方

下部のプッシュボタンを強くしっかりと長押し(4秒以上)してください。

補聴器の電源が切れます。

■ 電源の入れ方

下部のプッシュボタンを強くしっかりと長押し(4秒以上)してください。

補聴器の電源が入ります。

上部の

プッシュボタン

下部の

プッシュボタン



両耳でお使いの場合、電源のオン/オフは1台ずつおこなう必要があります。プッシュボタンの動作が無効の場合、電源が入るときのお知らせ音(メロディ)が鳴りません。

LEDの表示について

補聴器のLEDは、電源のオン⇄オフ切り替わり時に光ります。

■ LEDが6秒間点灯

電源をオンにした時(補聴器を充電器から取り外すか、下部プッシュボタンの長押しでオンになります。)

■ LEDが3秒間点滅

電源をオフにした時(プッシュボタンで電源をオフにした場合のみ。充電器に入れて電源をオフにした場合には点滅しない場合があります。)



注意

LEDは表示時間経過後に消灯します。(ずっと点灯または点滅し続けるものではありません)

補聴器を充電器に入れて電源をオフにした場合、補聴器のLEDが点滅しても、点滅しなくても、正しい仕様になります。両耳装用の場合、片方が点滅する・他方が点滅しないということもあります。

□ 充電器を使って

■ 電源の切り方

充電器のスロットに補聴器を置いてください。

■ 電源の入れ方

充電器から補聴器を取り出してください。



充電器の電源が入っている必要があります。詳細は充電器の取扱説明書を参照してください。

スリープモード (ミュート) について

別売のリモコンを使って補聴器をスリープモード (ミュート) にできます。スリープモードを解除すると、スリープモードになる前の音量とプログラムの設定に戻ります。

- ミュートは、補聴器を待機状態にするため、待機電力を消費します。
- ミュートが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。(電源が入る際のメロディとは異なります)。
- ミュートについてはリモコンの取扱説明書を参照してください。



スリープモードにした後、リモコンが手元に無く、スリープモードを解除することができない場合は、補聴器の電源をお切りください。この場合、ミュート前の音量とプログラム設定ではなく、補聴器に電源が入ったときの設定になります。

プログラム（聞こえ）の選択

（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

補聴器には、聞こえの設定（プログラム）を最大6つ※保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。

補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

※最大プログラム数は、クラスにより異なります。（41ページ参照）



- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
 - 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。
 - プログラムを切り換えたとき、お知らせ音でお知らせできます。
- お求めの販売店にて変更することができます。

□ プッシュボタンを使って

プッシュボタンを押すと設定されたプログラムが順番に切り換わります。

- 上部のプッシュボタンを押すと
プログラムが昇順に切り換わります。
(1→2→3→4→5→6→1…)

上部の
プッシュボタン

- 下部のプッシュボタンを押すと
プログラムが降順に切り換わります。
(1→6→5→4→3→2→1…)

下部の
プッシュボタン



プッシュボタンを長押しすると補聴器の電源が切れます。
再度長押しすると補聴器の電源が入りますが、選択していたプログラムや調整していた音量は標準の状態になります。



- プッシュボタンの機能を【プログラムの選択】として選択する必要があります。
 - 【プログラムの選択】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
 - プッシュボタンを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択していたプログラムや調節していた音量は標準の状態になります。
- 【プログラムの選択】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

☐ リモコン (別売) を使って _____

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

☐ スマートフォンアプリを使って _____

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のプログラムの選択を操作できます。

音量の調節

(選択されました機能の□に☑チェックを入れてください)

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。手で補聴器の音量を調節することもできます。



- 音量の変化幅を変更、または調節を停止することができません。

- 音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることができます。

お求めの販売店にご依頼ください。

☐ 自動調節

補聴器の音量は自動的に調節されます。



注意

音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。
お求めの販売店にご依頼ください。

☐ プッシュボタンを使って

上部のプッシュボタンを押すと音量が大きくなり、下部のプッシュボタンを押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。

上部の
プッシュボタン

下部の
プッシュボタン



注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。



- プッシュボタンの機能を【音量の調節】として選択する必要があります。
- 【音量の調節】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
- プッシュボタンを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択していたプログラムや調節していた音量は標準の状態になります。

【音量の調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

☐ リモコン (別売) を使って _____

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

☐ スマートフォンアプリを使って _____

弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量を調節することができます。

サウンドバランスの調節

補聴器の簡易的な音質を調節することができます。

☐ スマートフォンアプリを使って

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のサウンドバランスを操作できます。



- サウンドバランスの変化幅を変更することができます。
 - 【サウンドバランスの調節】機能を無効にすることもできます。
- 【サウンドバランスの調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

マニュアル指向性 (クラス: 7IX・5IXのみ)

マニュアル指向性は、目の前にいる人の話に集中したいときや、周囲の音を聞きたいときに聞こえの範囲をご自分で選択することができます。

☐ スマートフォンアプリを使って

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のマニュアル指向性を操作できます。



- マニュアル指向性を使用するには、両耳に【マニュアル指向性の選択】機能に対応した補聴器を装用する必要があります。
 - マニュアル指向性は、プログラム1でのみ動作します。
 - マニュアル指向性を使い終わったら、指向性自動モードに戻してください。
- 【マニュアル指向性】の設定は、お求めの販売店にご相談ください。

e2eワイヤレス通信

ワイヤレス対応補聴器を両耳に装着して、一方の補聴器を操作（音量の調節、音質の調節など）すると、もう一方の補聴器も同じように調節されます。



- e2eワイヤレス通信の機能については、お求めの販売店にご相談ください。
- e2eワイヤレス通信の機能を無効にすることもできます。お求めの販売店にて変更することができます。



注意

e2eワイヤレス通信の機能は、電子レンジ・IHクッキングヒーター・パソコン・プラズマテレビ・高圧線・蛍光灯などからの電磁波の影響を受ける場合があります。その場合は、電磁波の発生源から離れてください。

電源の遅延動作について

補聴器の電源を入れてから時間（6秒、12秒、18秒）をおいて、音を出すことができます

この機能を使用すればハウリング（ピーピー音）を心配することなく補聴器を耳に装着することができます。



- 電源ONのお知らせ音は、補聴器の電源を入れたときにメロディが流れ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。
- 遅延動作の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

注意

補聴器にはスマートフォンやBluetooth機器などと接続するためBluetooth機能を搭載しています。

この機能は補聴器の使いやすさを向上させますが、一方でデータのプライバシーやセキュリティ上の危険をもたらす可能性があります。

以下の点にご注意ください。

- 適切に保護されていないBluetooth接続は他者に傍受される可能性があります。補聴器は信頼できる機器とのみペアリングするようにしてください。
- 補聴器は電源を入れてから約3分間ペアリングモードになります。予期しないペアリング信号音が聞こえた場合は、害意のある侵入の可能性があります。
- 空港や駅など、公共の場や安全対策が不十分な環境で補聴器をペアリングする際は注意してください。
- 信頼できない人から補聴器の再起動を求められた場合は、再起動をしないでください。

詳しい情報については、お求めの販売店にご相談ください。

注意

Bluetooth機能の使用が禁止されている場所（病院内や一部の飛行機、特に離着時など）では、スマートフォンアプリでBluetooth機能をオフにするか、補聴器の電源をお切りください。

Bluetooth機器とのストリーミング

Bluetooth機器とペアリングをするとダイレクト通信でテレビの音声や音楽を楽しめます。スマートフォンアプリを使用して補聴器を操作してください。

☐ プッシュボタンを使って

プッシュボタンを押すとBluetooth機器とのストリーミング状態になります。



- プッシュボタンの機能を【ストリーミング】として選択する必要があります。
 - 【ストリーミング】スイッチとして選択している操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
 - プッシュボタンを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択していたプログラムや調整していた音量は標準の状態になります。
- 【ストリーミング】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

☐ スマートフォンアプリを利用して

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のストリーミングを操作できます。

オーディオストリーミング

この補聴器はBluetooth対応のスマートフォンやパソコン等の端末から補聴器に直接、通話や音楽をストリーミングできます。

さらに、この補聴器はBluetooth対応のスマートフォンやパソコンでハンズフリー通話も可能です。ハンズフリー通話の開始と終了をプッシュボタンで操作できます。

■ 通話開始

補聴器から着信音が聞こえたらプッシュボタンの下のボタンを1回押します。確認音が鳴り通話が始まります。

■ 通話終了

プッシュボタンの下のボタンを長押しします。確認音が鳴り、通話を終了します。



注 意

両耳装用時にオーディオストリーミングを使用すると、片方の補聴器で通話や音楽を受信し、e2eワイヤレス通信により反対側の補聴器に音声を送信します。e2eワイヤレス通信は電子レンジ・IHクッキングヒーター・パソコン・プラズマテレビ・高圧線・蛍光灯などからの電磁波の影響を受け、ストリーミングした音が一時的に途切れる場合があります。その場合は、電磁波の発生源から離れてください。

Bluetooth® のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、WS Audiology Denmark A/S はライセンスに基づいて本製品にこれらのマークを使用しています。その他の商標及び商号は、それぞれの所有者に帰属します。

アクセサリ

リモコン (別売)

☐ miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。

詳しい情報と操作方法は、お求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



miniPocket



他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お求めの販売店にご相談ください。

充電の仕方

補聴器の充電は専用の充電器をご使用ください。
充電方法は充電器の取扱説明書をご覧ください。

充電器のフタをあけ、補聴器の左右を確認してスロットへ入れます。
詳しくは充電器の取扱説明書を参照してください。

左耳 (L)
補聴器

右耳 (R)
補聴器

左耳 (L) 補聴器
のスロット

右耳 (R) 補聴器
のスロット



イラストはポータブル充電器です



注意

ストッパー（コンチャロック）やクリックモールドを使用していると補聴器が充電器に入らないことがあります。そのような時は、ストッパー（コンチャロック）やクリックモールドを取り外してください。

充電電池の残量が低下したとき

充電電池の残量が低下してくると補聴器から、まず20分（標準の設定）ごとに音を出してお知らせし、次に3分（標準の設定）ごとに音を出してお知らせします。20分間隔のお知らせ音が鳴り始めてから、補聴器の設定、使用方法によりますが、およそ1～2時間で補聴器は動作を停止します。また、3分間隔のお知らせ音は充電電池の残量が無くなる直前のお知らせ音ため、なるべく早く補聴器を充電器で充電してください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。
いろいろな場所で聞いてみましょう。

- ☐ 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。
声を出して新聞や本などを読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



- ☐ 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



- ☐ 4～5人の人たちの会話を聞き、どの人が話をしているのか聞き分ける練習をします。



- ☐ 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。



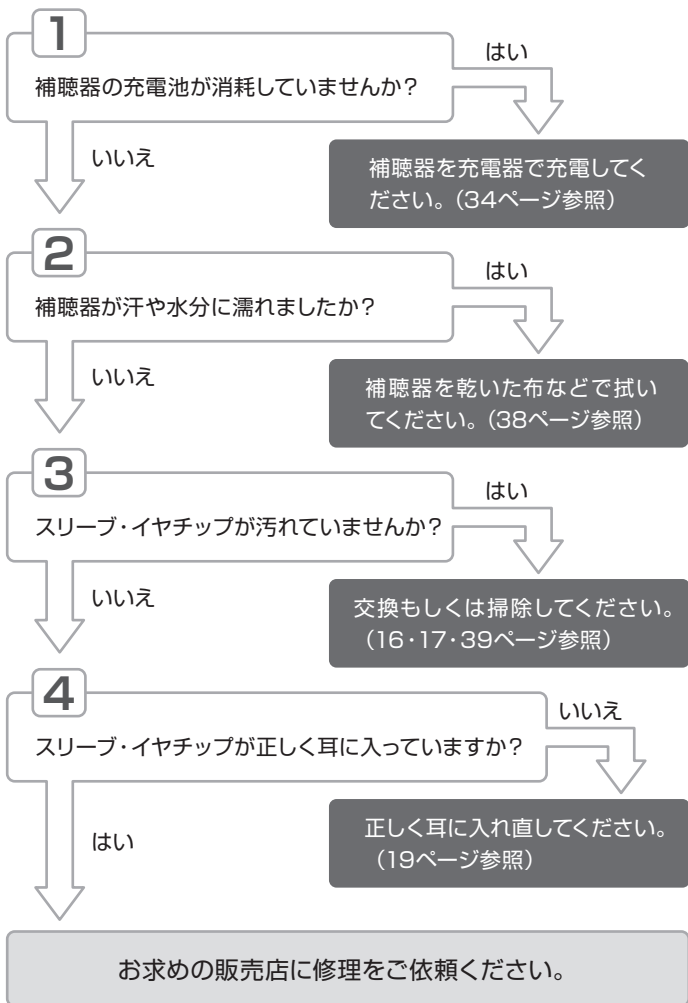
- ☐ 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。



補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お求めの販売店に相談しましょう。

故障かなと思われたときは

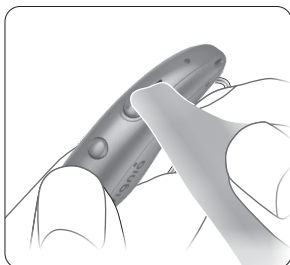
補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。



お手入れの仕方

補聴器は常に清潔にしてください。

補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



⚠ 注意

補聴器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
お手入れ中に、補聴器に強い力を加えないでください。

補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いてください。

（特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。）

補聴器をより乾燥されたい場合は、別売の乾燥ケース、または電気式乾燥器（乾燥&UV除菌）のご使用をお勧めします。

スリーブ・イヤチップ・クリックモールド（別売）は常に清潔に保ちましょう。クリックモールドのクリーニングにはクリーニングシート・クリーニングタブレット（別売）をご使用になるとたいへん便利です。

毎日ご使用後、汚れをクリーニングするようお勧めします。

掃除の仕方

補聴器に付属しているマグネット付き掃除ブラシをお使いください。耳垢が中に入らないようにマグネット付き掃除ブラシを上向き、レシーバーを下向きにして掃除します。スリーブ・イヤチップをご使用の場合は、掃除が終わったら必ずスリーブ・イヤチップの取り付けを確認してください。もし緩んでいたら取り外して、新品に交換してください。



同梱の補聴器早わかりガイド【耳かけ】編の **3** 毎日お手入れしましょうにありますRICタイプも参照してください。

補聴器の設定

お求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。

(選択されました仕様や設定の□に☑チェックを入れてください)
スリーブやイヤチップなどのご購入の際や環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断するのにご利用ください。

補聴器		
クラス	<input type="checkbox"/> 7IX	<input type="checkbox"/> 5IX
	<input type="checkbox"/> 2IX	<input type="checkbox"/> 1IX
電源の遅延機能	<input type="checkbox"/> 18秒	<input type="checkbox"/> 12秒
	<input type="checkbox"/> 6秒	
電池消耗時の お知らせ音の間隔※1	<input type="checkbox"/> 1分 (15分)	<input type="checkbox"/> 3分 (20分)
	<input type="checkbox"/> 5分 (25分)	<input type="checkbox"/> 7分 (30分)
お知らせ音		
音の種類	<input type="checkbox"/> メロディ	<input type="checkbox"/> 信号音
環境プログラムの 切り替え	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
音量調節の操作※2	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
音量調節の限界※3	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
音量調節の開始位置	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
電池容量の警告	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
Bluetooth	<input type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効

環境プログラム（聞こえの）設定

プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	
5※4	
6※4	

これらプログラムの変更は、お求めの販売店にご相談ください。

リモコン

型式



miniPocket

- ※1 () は最初に鳴り始めるお知らせ音の間隔です。
- ※2 お知らせ音をメロディに設定していると音量が上がる際は高い音、音量が下がる際は低い音になります。
- ※3 音量が最大、または最小まで調整されたことをお知らせ音でお知らせします。
- ※4 クラス：7IX、5IX、3IXのみ

お求めの販売店で、ご使用中のスリーブやイヤチップの□に☑
チェックを入れてもらってください。

スリーブ ③.0

☐ スリーブ ③.0

XS Vented



☐ スリーブ ③.0

S Vented



☐ スリーブ ③.0

XS Closed



☐ スリーブ ③.0

S Closed



☐ スリーブ ③.0

XS Power



☐ スリーブ ③.0

S Power



スリーブ 3.0

☐ スリーブ 3.0

M Vented



☐ スリーブ 3.0

L Vented



☐ スリーブ 3.0

M Closed



☐ スリーブ 3.0

L Closed



☐ スリーブ 3.0

M Power



☐ スリーブ 3.0

L Power



イヤチップ 3.0

☐ イヤチップ 3.0

5mm オープン



☐ イヤチップ 3.0

7mm オープン



☐ イヤチップ 3.0

10mm オープン



☐ イヤチップ 3.0

8mm チューリップ



☐ イヤチップ 3.0

12mm チューリップ



補聴器の保管

短期間の保管（1週間程度）

補聴器のプッシュボタンを長押しして電源を切るか、充電器に補聴器を置いてください。



注意

充電器の電源が入っている必要があります。電源が入っていないと、補聴器を充電器に置いても補聴器の電源が切れません。

リモコンを使って、補聴器をミュートにした場合は、補聴器の電源は切れません。ミュート状態では待機電力を消費します。

長期間の保管（月単位）

最初に補聴器を完全に充電してください。充電が完了したら補聴器のプッシュボタンを長押しして電源をお切りください。

補聴器を保管する際は、乾燥ケースなどを使用することをお勧めします。



注意

充電電池の過放電を避けるため、仮に補聴器をご使用なさらなくても満充電にしてから、少なくとも6カ月以内に再充電してください。推奨は3か月ごとの充電です。

充電電池が過放電の状態になると充電することができなくなり、充電電池を交換することになります。

保管条件は、「技術資料」を参照（46ページ）してください。

技術資料

動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中	充電中
温度	0～50℃	10～35℃
相対湿度	5～93%	5～93%
大気圧	700～1060hPa	700～1060hPa

長期間の保管や輸送には下記の条件を確認してください。

保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10～40℃	-20～60℃
相対湿度	10～80%	5～90%
大気圧	700～1060hPa	700～1060hPa

技術基準適合証明

形式：Pure C&G BCT IX



202-JMV013

分解、改造すると電波法に抵触する恐れがあります。

充電時間について

急速充電30分で約6時間、通常フル充電4時間で約54時間ご使用になれます。（充電時間や使用時間は、充電池の残量や補聴器の設定などにより変わります。）

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書には必ず「販売店名、お買上日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

保証 期間中、修理依頼されるとき

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります。

HPモールドの再作保証は製造日より1年間です。

クリックモールドの再作保証は製造日より120日です。

保証期間経過後の修理について

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。

部品の保有期間

この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。（部品の供給状況により、短くなる場合がございます。）

その他のお問い合わせは……

アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

製造販売業者：WSオーディオロジージャパン株式会社

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中心林間 7-10-1
三機大和ビル 6F

TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133

※フリーコールにつながらない場合は、下記番号までお問合せください。

TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

Document No. 05901-99T02-5Z00 JP-JPN | D00304904

Order/Item No. 210 487 58

Master Rev01, 11.2024

© 11.2025, WSAUD A/S. All rights reserved



* 2 1 0 4 8 7 5 8 A *

キ -21048758 / Rev.A 2025.11